

研究の概要 (オプトアウト公開用)

西暦 2021 年 5 月 10 日

臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明のうえ同意を取得して実施をします。臨床研究のうち、研究対象者等（患者さん等）への侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究や、余った検体のみを用いるような研究については、国が定めた指針に基づき、研究対象者等のお一人ずつから、必ずしも直接同意を得る必要はありませんが、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要とされております。このような手法を「オプトアウト」と言います。

本研究への協力を希望されない場合あるいはお問い合わせは、下記の担当者までご連絡ください。

審査課題名	ART が一卵性多胎発症へ与える影響 ～特に一絨毛膜二羊膜双胎の周産期予後について～
実施責任者	理事長 塩谷雅英
研究代表者	医師部門 部長 山田 聡
研究対象者	2011 年～2018 年に当院で胚移植を行った患者さまならびに 2013 年～2020 年に体外受精後の胚のタイムラプスモニタ リングを行った患者さま
研究期間	2021 年 5 月～2023 年 3 月
研究目的・方法	ART が一卵性多胎発症に及ぼす影響を診療録の解析により検 討し、特に一絨毛膜二羊膜双胎に進展した受精卵の特徴がタ イムラプスライブイメージングシステムの動画で把握できれ ば移植胚の選別が可能となり双胎間輸血症候群（TTTS）の絶 対数を減少させる可能性がある。
研究に用いられ る試料・情報	既存の診療情報
個人情報の取り 扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者様を特定できる個人情 報は削除いたします。また研究成果は学会等で発表を予定し ていますが、その際にも患者様を特定できる情報は含まれま せん。その他当院の個人情報保護方針に則り取り扱いいたし ます。
お問い合わせ先	英ウィメンズクリニック 倫理委員会事務局担当 山本健児 電話：078-392-8716